



本棚から教材を開くと、ビューア画面が表示されます。

ツールバーの配置変更

ツールバーとページ操作バーを右から左、または左から右に移動します。

※設定から、「ツールバー位置のきりかえ」で、上部にツールバーを移動することも可能です。

ページ操作バー

- ◀ 前のページに移動します。
- ☰ もくじメニューを開きます。
- 📖 ページ番号を入力して移動します。
- ◀▶ ページ一覧からページ移動を行います。
- ▶ 次のページに移動します。

メニューバー

◀ **バインダーへ移動する**
 白紙のノートにペン・図形・テキスト・画像・マイリンクを貼り自由に編集できます。「教科書に戻る」ボタンを押すと紙面表示に戻ります。

◀ **超しおり**
 紙面やコンテンツへの書き込み・拡大率・マイリンクなどを保存できます。同じページで複数のしおりを作成でき、◀▶ボタンで表示を切りかえられます。しおりを他の利用者が読みこめるよう出力したり、他の利用者が作成したしおりを読みこんだりすることができます。詳しい手順はQRコードのリンク先をご覧ください。



◀ **前のページに戻る**
 ひとつ前に表示していたページに戻ります。

◀ **ヘルプ**
 おもなアイコン一覧と、その機能を確認できます。

◀ **一覧表示**
 マイリンク、リフロー時のマーカーの一覧を表示します。

◀ **設定**
 表示設定の変更や学習履歴の保存・読み込みを行うことができます。

おもな機能

- **全画面表示**
 全画面表示のON/OFFができます。
- **表示のきりかえ**
 アイコン、QRアイコン、書き込み、マーカー、暗記ペンの表示/非表示を切りかえられます。
- **ツールバー位置のきりかえ**
 ツールバーの左右/上部表示を切りかえます。
- **ツールバー設定**
 表示するアイコンの表示数や表示順を変更できます。
- **学習履歴のダウンロード**
 教材1冊分の書き込みやしおりなどの学習履歴データを外部に保存することができます。
- **学習履歴ファイル読み込み※デジタル教科書のみ**
 保存した学習履歴(.arkxファイル)を読み込み、続きから開くことができます。

ツールバー 設定の「ツールバー設定」で並び替え・表示/非表示の選択が可能です。

- ◀ **通常操作**
 紙面を操作する基本のモードです。2本の指を遠ざけたり近づけることで拡大と縮小をするピンチズームができます。
- ◀ **ズーム**
 拡大したい範囲を選択してのズームや、拡大/縮小ボタンでのズームができます。
- ◀ **ペン**
 フリーハンド線、水平・垂直線を書き込めます。色や線の種類の設定を4種類まで登録できます。
- ◀ **図形**
 様々な図形を書き込めます。図形・色・線の種類の設定を3種類まで登録できます。
- ◀ **テキストボックス**
 文字を入力できる図形を書き込めます。吹き出し・メモ・文字のみなどの設定を3種類まで登録できます。
- ◀ **マイリンク**
 他のページやウェブサイトへのリンクを貼り付けます。
- ◀ **暗記ペン**
 暗記したい部分を隠すマーカーをひけます。線をタップすると半透明/不透明になります。太さの調節もできます。
- ◀ **画像貼り付け**
 画像や写真を紙面に貼り付けます。

特別支援機能 (地理総合、歴史総合、公共のデジタル教科書のみ)

- ◀ **リフロー**
 リフロー表示に切りかえます。文字のサイズや色、書体などを変更できます。マーカーを引くこともできます。
- ◀ **白黒反転**
 背景色や文字色を反転させます。紙面表示とリフロー表示で利用できます。
- ◀ **総ルビ**
 総ルビ表示に切りかえます。紙面表示とリフロー表示で利用できます。
- ◀ **白黒反転設定**
 反転表示のパターンを設定できます。設定変更はリフロー表示でのみ利用できます。

紙面に表示されるアイコン (リッチコンテンツ)

- ◀ **QRコンテンツ**
 紙の教科書・資料集に収録されているQRコードと同じコンテンツを表示します。
- ◀ **動画 (資料集のみ)**
 動画を再生します。
- ◀ **レイヤー地図 (資料集のみ)**
 地図上の表示要素を任意に選択して表示できます。

学習履歴 (書き込みなどの操作履歴) の保存と読み込み

デジタル教科書について、書き込みや暗記ペン、しおりなどのデータを保存するには、右記の手順が必要です。そのままブラウザを閉じると学習履歴が消えてしまいますのでご注意ください。
 ※デジタル資料集は学習履歴が自動保存されるため、右記の手順は不要です。

- ① ビューア右下の「設定」アイコン→「学習履歴のダウンロード」を選択してください。「教材名_日付_時刻.arkx」の名前でファイルが生成されます。端末本体やOSのクラウド、USBなどに保存してください。
- ② 次に教材を開いたときに、「設定」アイコン→「学習履歴ファイル読み込み」を選択し、保存していたファイルを読み込むと、続きから教材を開くことができます。新しく書き込みを行った場合は、また①の保存方法を繰り返し、新しい学習履歴を保存してください。